

みやざきの神楽
国立能楽堂公演

にしめら
西米良に
あらわ
現る
神楽

2022年 10月11日 [火]

13:30—17:30 予定 開場 12:30

国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

観覧無料 要事前申込み

詳しくは裏面を御覧ください。

KAGURA of Nishimera
National Noh Theatre

2022, October 11 tue.

13:30-17:00 *open-12:30

Free Admission

*Reservation Required: Web, Tel. or Fax

主催：宮崎県 共催：西米良村
後援：芸能学会

御神屋に集いし神と人と——

記紀神話の源流である宮崎県には、県内各地多くの里で神楽が伝承されています。地域の風土やそこでの人々の暮らしが色濃く反映される神楽は、里の記憶と共に大切に継承されている“宮崎の宝”です。

国立能楽堂の能舞台に宮崎の神楽が舞い始めて7年目。今回は、宮崎県の西部にあり、熊本県との境にある山深い谷あいの西米良村に伝わる村所神楽が舞台を彩り、安寧への祈りを込め舞い降ります。

西米良に現る神楽

にしめら

あらわ

撮影：五十川満

第一部 基調講演

小川 直之氏 國學院大學教授



専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門委員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。現在は、宮崎県のみやざきの神楽魅力発信委員会委員長として、みやざきの神楽の保存継承や魅力発信に携わる。独立行政法人日本芸術文化振興会評議員や南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザー、中国の南開大学客員教授などを務める。

第二部 神楽公演

村所神楽

国選択無形民俗文化財(米良山の神楽)

宮崎県西米良村に伝承される村所神楽は、令和4年現在、保存会に42名在籍し、県内外での神楽公演等にも参加し、歴史ある神楽の保存継承に努めています。村所神楽は村所公民館前庭に注連を建立し三十三番が執り行われる他、毎年12月には狭小稲荷神社など氏子区の数か所の神社でも奉納されています。神楽前半に御降りになる「大王様」は懷良親王であると伝わり、ここから南朝に関わる神々、土地の神々が降臨する「神神楽」と呼ばれる神事性の強い厳肅な舞が続きます。その後、神神楽のクライマックスである「注連舞」が終わり、勇壮な「民神楽」の時間となり、賑やかな神楽囃子が許されます。

お申し込み方法

RESERVATIONS

観覧無料

ADMISSION FREE

WEB、TELまたはFAXよりお申し込みください。応募期間：9月25日〔日〕まで
※一度にお申し込みできる人数は2名様まで。※応募多数の場合は抽選



WEB ◀QRコードまたは下記URL

<https://www.umkag.com/events/miyazaki-kagura-nougakudo/>

TEL 0985-22-1122 平日10:00-17:00

FAX 0985-22-1128

申込者名、郵便番号、住所、連絡先(TEL/FAX/メールアドレス)をお知らせください。※2名様でお申し込みの場合、申込者名・連絡先は2名様分必要です。

◎当落通知はメールまたはハガキにてお知らせいたします。◎ご応募の際に頂いた情報は抽選結果の通知及び新型コロナウイルス感染防止のため保健所など公的機関への提供以外に使用することはありません。◎新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては、公演を急遽中止させていただくことがあります。公演当日はマスク着用など新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。◎お問い合わせ先「みやざきの神楽国立能楽堂公演」事務局(株式会社UMKエージェンシー内)TEL:0985-22-1122 FAX:0985-22-1128 ※平日10:00-17:00

国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

JR

中央・総武線 千駄ヶ谷駅より徒歩5分

地下鉄

副都心線 北参道駅 出口1より徒歩7分

都バス

早81・黒77 千駄ヶ谷駅前より徒歩5分

